

## 令和4年度 第3回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和4年11月22日(火) 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 平松 昇、 田口 純奈(途中退席)、 大橋 基文、 平野 久和、  
平野 恵子、鈴木 利明、 嶋田 ゆかり、 クリステンセン 勇美
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 木下 健(校長)、 池野 由香里(教頭)、 古宮 康子(教務主任)、  
岩嶋 明里(養護教諭)、 池本 恵理子(1年生学年主任)、 渡瀬 恭子(2  
年生学年主任) 服部 美保(CSディレクター)
- 6 傍聴人 2人
- 7 協議事項
  - (1) 議長選出
  - (2) 教育活動について(養護教諭、1・2年生学年主任)
  - (3) 学校評価について
  - (4) 自己評価について
  - (5) その他
  - (6) 学校支援コーディネーターより
- 8 会議録作成者 服部 美保(CSディレクター)
- 9 会議記録

### (1) 議長選出

司会のクリステンセン委員から、議長の選出について出席委員に意見を求めたところ、平松会長を議長に選任することについて、全員異議なく承認した。

### (2) 教育活動について

議長の指示により、岩嶋養護教諭から、学校保健活動について説明があった。今年度に入ってから10月までの保健室の来室数は、怪我の来室965件、病気の来室485件となっている。怪我については打撲が多く毎日2、3件の来室がある。全体として月曜日や連休明けの火曜日に欠席者が多い傾向となっている。6月から「生活習慣クリーンチェック」を朝の健康観察の時間に行っていて、目標睡眠時間に眠ることができたかの調査を実施している。

委員から以下の発言があった。

- ・ 目標時間を守れなかった理由は何か？(田口委員)
- ・ 高学年の子だと、ゲームやスマホ、タブレットをやっていて時間が過ぎてしまったとか、なんとなく眠れないといった理由があるようだ。時間の使い方が上手にできていないと感じる。(岩嶋養護教諭)
- ・ 高学年だけでなく小さい頃からユーチューブなど見ている時代。ノーメディアデーの結果を睡眠時間と絡ませて保護者に伝えたらどうか。以前はスポーツの習いごとをして遅くなることの方が多かった。睡眠時間は健康を保つ上で大部分を占めていると思う。(田口委員)
- ・ ノーメディアデーを増やしたいという思いはある。実施後の感想で、「早く寝られた。すっきり目覚めた。」との感想があった。こういう生活も案外良いなと感じているようだが、決まりがないと続かない。ノーメディアデーに親御さんが子供と一緒に料理してくれたり外で遊んでくれたりして、家庭の協力を感じられる。新原小の子はメディア使用時間が長いと集計でも出ているので改善していきたい。(木下校長)

- ・我が家はスポーツの習い事が毎日あり、帰宅して宿題を終えたら自由時間としてゲームするという習慣になっている。時間の使い方が自分で上手にできると良いと思っている。(鈴木委員)
- ・寝る前のメディアはあまり良くないと聞くので、お風呂から出たらゲームをしないよう声掛けをしている。(鈴木委員)
- ・低学年の子が自分でメディアの管理をするのは難しいと想う。親の意識でだいぶ違うと思う。(クリステンセン委員)
- ・学級閉鎖になったときに宿題はどのように対応しているのか。(平松会長)
- ・クラス担任がプリントを作り、元気な子は自宅でやるようにしている。できない子は学校の休み時間にみて指導するようにしている。(古宮教務主任)
- ・他校の話だが、コロナウイルス感染症の濃厚接触者になり、その後本人も陽性になったため学校を長い期間休んでいたが、プリントなど届けてもらえず授業についていけなくなったという話を聞いた。(田口委員)
- ・コロナウイルス感染症で出席停止になった子には、プリントや手紙を自宅のポストに入れている。一日おきには行くようにしている。(古宮教務主任)

次に、1年学年主任の池本教諭から1年生の様子について説明があった。男子23人女子38人、友達と積極的に関われる明るく元気な子供たち。1年生はまず、学校に慣れることを目標にしている。具体的には鉛筆の持ち方やノートの書き方、生活の基本的習慣が身につくように根気強く指導している。最近は入学した頃と比べるとずいぶん成長していると感じる。みんな仲良くしているがその反面、はしゃぎ過ぎることもあり、落ち着いた生活ができるように見守っている。下校時自分たちだけで帰る時間に地域の方に声掛けしてもらえるとありがたい。

委員から以下の発言があった。

- ・月曜日は1年生だけ早く帰る日だが心配なことはあるか。(平松会長)
- ・自宅に帰らずそのまま友達の家へ行って遊んでしまう子がいた。その都度指導している。(池本教諭)

次に、2年学年主任の渡瀬教諭から2年生の様子について説明があった。2年生は全員で65人、「みんな違ってみんないい」を合言葉にパワーあふれる毎日を過ごしている。またたんけんでは学校支援コーディネーターにお世話になり感謝している。10月に行ったフルーツパークはお弁当を持って出かける初めての校外学習になった。スポーツフェスティバルでは、6年生の応援団を見よう見まねで、ミニ応援団まで自分達で作った。多様な時代ではあるが、これからも人間関係を充実させていきたい。

### (3) 学校評価について

議長の指示により、教務主任の古宮教諭から、別紙資料を参考に学校評価について説明があった。頂いた意見は、来年度への教育課程編成会議の参考にしていきたい。なお、変更できるものは随時変更して改善したい。

委員から以下の発言があった。

- ・質問番号3「国語や算数の学習内容がよくわかった。」で職員の評価が低いのは、先生から見て児童の学力に心配があるからなのでは。(平野久和委員)
- ・学力について心配している。朝学習でプリントの取組みをしているが、すぐに結果に結びつかないのが悩み。(古宮教務主任)
- ・危機感はある。前回の定着度テストでは、ほとんどの学年が平均点を上回らなかった。学習に対する姿勢(学習習慣)の下に生活習慣があると思う。学習以前に生活習慣を整

- えることが必要。メディア使用時間を減らさないと根本的な解決にはならない。生活習慣を整えれば自然と学力も向上する。これには家庭の協力が必要。(木下校長)
- ・学校で統一した家庭学習カードを使っているが、目標とする学習時間をカードに印字するようにした。また、3年生以上の学年は自主学習に取組み、学習意欲が育っているのではと期待している。(古宮教務主任)
  - ・睡眠時間と学力は密接に関わっている。相対的な結びつきを保護者にお知らせしたら良いと思う。(平野久和委員)
  - ・定着度テストの結果について成績は全体的に低いのか。(田口委員)
  - ・今年の結果を見ると、分布図の山が二つあり、二極化していることが分かった。(古宮教務主任)
  - ・二極化していることが、すぐに学習の効果が表れない理由だと思う。(木下校長)
  - ・いじめや子供同士のトラブルについてどうか。(平松会長)
  - ・トラブルについては個々に面談し対応しているが、とても難しい問題。困っている子をどうやって救ったら良いか悩んでいる。(古宮教務主任)
  - ・最近では表面に見えるいじめだけでなく、SNSなど目に見えないいじめがあると聞く。高学年の子は携帯電話を持っている子が多いみたいだが、子供からの訴えがないと分からない。(平野恵子委員)
  - ・メディアに関わるトラブルを、当事者からでなく周りの人から聞くことがある。メディアの使い方や情報モラルについて授業でやっていく必要がある。(池野教頭)
  - ・地域の方で力になれることがあれば協力したい。(平野久和委員)
  - ・いつも思うことは、知らない人に声を掛けられても返事をしない子がいるということ。いつでもどこでも「おはよう！おかえり！」と声を掛けられれば、いじめなどのトラブル防止にもつながる。いつも地域の人に見られているという感覚があると良い。新原中どこでも「あいさつ通り」になるのが理想。いじめなど親ですら関われない問題があるが、地域の方の声掛けで子供たちに関わってくれれば嬉しい。(木下校長)
  - ・近所を散歩して子供に声を掛けると返事をしてくれる。こちらから声掛けしないと反応はないけど。「あいさつ通り」を町内ごとに指定するというのはどうか。(平野久和委員)
  - ・親御さんが子供に対して挨拶しているのかが疑問。家庭内での挨拶の欠如が今の状況につながっていると思う。睡眠時間の減少も共働きなどの家庭の変化で声掛けが減っているせいではないか。難しい問題だと思う。(大橋委員)
  - ・「あいさつ通り」前向きに考えたい。形から入るのも必要。(木下校長)
  - ・自転車の乗り方について保護者から心配の声が上がっているようだが。(平松会長)
  - ・自転車の乗り方教室を毎年警察に協力してもらい実施しているが、最近数年は雨でできていない。体育館でVTRを見て代表の子が実車するという形でやっている。(古宮教務主任)

#### (4) 自己評価について

議長よりみどりっ子育成協議会自己評価について、別紙評価用紙の評価項目について各委員に意見を求めた。各委員から発表があり、その他以下の発言があった。

- ・協議会の取組みを幅広く周知するため「協議会」「PTA役員」「地域各団体」合同会議開催による体制づくりが必要だと思う。(大橋委員)
- ・「みどりっ子を育てる会」が各団体の長が集まる会となる。(平松会長)
- ・来年の2月に「みどりっ子を育てる会」を予定しているので、各団体の立場で意見を頂き、学校の考えも伝えることができる。緩やかな意見交換の場になればと思っている。(木下校長)
- ・一人でも多くの方が興味を持ってくれれば良いと思う。(大橋委員)

- ・それが、地域学校協働本部の、目指すところだと思う。(平松会長)

(5) その他

学校の設備環境について委員から質問があった。

- ・児童のロッカーについて、3年生～5年生の児童はロッカーを共有して使っていると聞く。ランドセルが大きくなっているのに一人一つのロッカーを使えないのはどうか。不便だと思う。(嶋田委員)
- ・学校施設課へ改善の要求をしているところ。ロッカーを共有しているのは市内で新原小だけと聞く。順次改修工事をしてくれると聞いている。(木下校長)
- ・保護者としては、順次ではなく一度に工事をして欲しい。子供たちのためにも是非早急な対応をお願いしたい。(鈴木委員)
- ・それと、本校のグラウンドの乾きが非常に悪いと聞く。昼頃に雨が止んでも次の日にはまだ使えない状態。コロナ禍で外での運動が大切なので早く改善してほしい。(平松会長)

(6) 学校支援コーディネーターより

議長の指示により、嶋田委員から、ボランティアについて報告があった。

10月からミシンボランティアの方が沢山参加してくれて、予定より早く完成することができた。とても感謝している。今は卒業式のテーブルクロスを作成中。現在、書初めボランティアも募集しているところ。

その他報告事項

事務局から今年度の学習発表会について、協議会委員以外の来賓の参加を見合わせる旨の報告があった。